



公益社団法人
日本左官会議
The Sakan Plastering Council of Japan

——その終焉がもたらすもの

職人がいる町、 塗り壁の ある暮らし

連続シンポジウム 福岡編

つい30年くらい前まで、日本の壁といえば左官の壁だった。庶民の家もお金持ちの家も、そば屋も旅館も、学校や役所だって、左官が壁を塗っていた。それらが急速に姿を消していった。多くの左官は廃業し、後継者はいなくなっていく。はたして、左官はもう終わりなのか？日本人はもう左官を必要としていないのか？

日本左官会議の連続シンポジウム。一緒にお考えいただけたら幸いです。



大正期に建てられた町家を改修した「奈良町宿・紀寺の家」。
撮影／喜多章 コンフォルト145号（建築資料研究社）より

2018年11月3日(土・祝)

九州大学伊都キャンパス 稲盛ホール

福岡市西区元岡 744 九州大学伊都キャンパス稲盛財団記念館 1階

14:00~16:30 シンポジウム

協賛会社等展示ブース開場・シンポジウム受付 12:30 より

【入場料】 一般 1,500円 日本左官会議会員・学生 1,000円

伊都キャンパス完成
2018年9月

挟土秀平	左官・職人社秀平組
荒木富士男	左官・富士工舎
原田 進	左官・原田左研
小林隆男	左官・江州左官土研
川口正樹	左官・左官川口
道下幸二	左官・道下組
荒木新二	左官・ ^{たくしん} 巧新
高木正三郎	建築家・九州大学非常勤講師

主催／公益社団法人日本左官会議

共催／九州大学

特別協賛／田川産業

協賛／石蔵商店、上村建陶、河北本店、建築資料研究社、

四国化成工業、善徳丸建材、内外テクノス、西日本ダントー、

日本玉石、伸建築、フジワラ化学、丸京石灰、ヤブ原

協力／福岡県建築士会、福岡県左官業組合連合会、

アジア景観デザイン学会

連続シンポジウム 福岡編

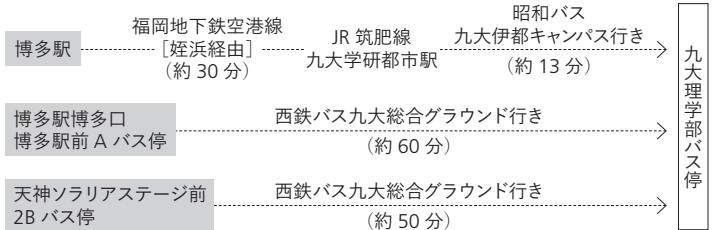
職人がいる町、塗り壁のある暮らし

——その終焉がもたらすもの

日時 2018年11月3日(土・祝)
14:00~16:30 シンポジウム
協賛会社等展示ブース開場・シンポジウム受付 12:30より

会場 九州大学伊都キャンパス
稲盛ホール(稲盛財団記念館1階)
福岡市西区元岡744 九州大学伊都キャンパス

*クルマの方はビッグオレンジにある守衛所にて、入構料300円をお支払のうえ、所定の手続きをして駐車ください。



挟土秀平 Syuhei Hasado

岐阜県高山市生まれ。30代までは野丁場の左官として大きな現場も仕切る。2001年職人社秀平組を設立、自然から得られる素材による左官を本格的に始め、物語性のある独創的な壁を次々に発表。個展、執筆などにも才能を発揮し、海外でも活躍。一昨年はNHK大河ドラマ「真田丸」の題字やタイトルバックの壁も制作。日本左官会議議長。



原田進 Susumu Harada

大分・日田生まれ。父の下で修業後、久住章氏の弟子となり、1996年、38歳で原田左研を継ぐ。「土や藁や砂や貝灰を水とまぜて壁に塗ると、その壁に包まれた空気や雰囲気、つまり『あいだ』が人にとってえらく居心地がいいものになる」という。それは明るい自身のキャラクターと見事に一致、ヒゲのスーパーマンとして人望が厚い。日本左官会議副議長。



小林隆男 Takao Kobayashi

滋賀・守山生まれ。父も左官で、地元の現場で修業を積む。土の素晴らしさを世の中に広めていきたいと「天下布土」をきっかけ、多分野の人たちとも積極的に交流、ワークショップやボランティアの経験も豊富にもつ。駄洒落や冗談を飛ばしつつ、裏方も引き受けて、後進を親身になって指導する、ヒューマニティ溢れる親方。日本左官会議副議長。



川口正樹 Masaki Kawaguchi

三重県大台町生まれ。高校卒業後、フレスコ、彫刻などを得意とする会社に30年勤め、2006年に独立。店舗、住宅、お茶室などの数寄屋も多く経験。久住章親方の「ホテル川久」の現場にも参加した。若手と仕事をともにして、愛知地域のこれから担う若い人たちに、技術や知識を受け継いでいてもらいたいと考えている。日本左官会議理事。



荒木富士男 Fujio Araki

1954年福岡生まれ。17歳で左官になり、30歳で全国左官技能競技大会で優勝。久住章親方の仕事を助け、平成2年から2年間、ホテル川久のエントランスロビーのマーブル磨き列柱の仕上げ責任者。桂離宮笑意軒の修復にも参加。現在、西日本の文化財修復や商業施設、住宅など幅広い仕事にかかわる。日本左官会議顧問会員。



道下幸二 Koji Michishita

1975年福岡生まれ。福岡大学付属大濠高等学校卒業後、父が経営する有限会社道下組入社。左官職人の父の下で修行を積む。2005年、29歳で道下組代表取締役就任。新しい左官材料の施工や、昔の技法や工法を学び新しい仕上げ(意匠)の提案を得意とする。職人の未来を創るため、若手育成にも努力している。日本左官会議賛助会員。



荒木新二 Shinji Araki

1986年熊本県生まれ。父の会社で修業後、独立。「努力は裏切らない」の精神で挑戦した技能五輪全国大会で優勝。素材の個性を活かした左官仕事に、日々感銘を受け、さまざまな工法習得に務める。2016年の熊本地震での歴史的文化的財の被害は大きく、長い年月をかけた修復に取り組んでいる。故郷の素晴らしい遺産を残していきたいと考える。



高木正三郎 Shozaburo Takagi

1969年福岡県生まれ。早稲田大学理工学部修士課程修了、石山修武研究室個人助手。99年より設計+制作/建築巧房代表。大工と左官の技能を用いた現代建築を設計する。中古マンション再生「漆喰と木の室」(2001年~)や、(社)古家空家調査連絡会立ち上げ(15年)などを行う。現在、福岡大学、佐賀大学、九州大学非常勤講師。

[入場料] 一般 1,500円
日本左官会議会員・学生 1,000円

[定員] 280人

[申込み] ◎事前申し込み制です。下記サイトのページからお申し込みください。
<https://www.sakanjapan.com/forum.html>

◎faxでも事前申し込み可能です。
fax.03-6667-6108 (下記にご記入の上、ご送信ください)

*当日、日本左官会議に入会する方も会員料金(1,000円)でご入場いただけます。会費5,000円/年(準会員・支援会員)。*定員になり次第、締め切りとなります。ご了承ください。

ふりがな お名前	職業・所属
ご住所 〒	電話番号 (日中連絡のつく番号)
メールアドレス	

*いただいた個人情報は慎重かつ適切に管理し、第三者に提供することはありません。ただし、当法人が関係する講演会やイベントの案内には使わせていただきます。どうぞご了承ください。